

プランクトン調査結果のお知らせ

平成27年4月30日午前9時半から浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので結果をお知らせします。

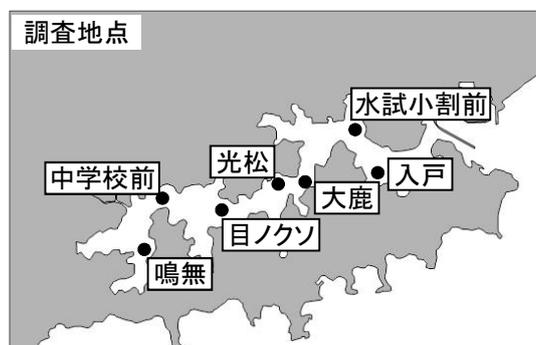
湾全体で薄い着色が見られ、鳴無周辺では濃い着色が見られました。

検鏡の結果、鳴無及び中学校前でシャットネラ属(シャットネラ・マリナ、シャットネラ・アンティカ)が被害が想定される細胞密度を超えていました。また、鳴無ではカレニア・ミキモトイも被害が想定される細胞密度を超えていました。今後さらに増殖し、養殖漁場でも被害が想定される細胞密度に達する危険性があります。十分注意してください。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

		シャットネラ属 (マリナ、 アンティカ)	カレニア・ ミキモトイ	ヘテロシグマ・ アカシオ	ココロディニウム・ ポリクリコイデス	シュードシャットネラ・ ベルクローサ
鳴無	0m	1	3	4,300	2	30
	2m	39	58	1,300	0	0
	5m	61	350	500	0	0
中学校前	0m	0	2	1,300	3	20
	2m	6	13	400	4	0
	5m	20	22	0	2	10
目ノクソ	0m	0	12	210	4	30
	2m	3	21	60	0	0
	5m	0	1	20	0	0
光松	0m	1	7	160	0	0
	2m	3	10	340	0	0
	5m	5	5	30	0	0
大鹿	0m	0	1	140	0	10
	2m	6	10	520	0	10
	5m	0	0	50	0	0
水試小割前	0m	0	0	550	0	0
	2m	0	0	2,800	0	20
	5m	0	0	290	0	0
入戸	0m	0	0	1,020	0	0
	2m	0	0	540	4	0
	5m	0	0	200	0	0

(cells/ml)



漁業被害が想定される細胞密度
・シャットネラ属: 10~100cells/ml(魚類のへい死)
・カレニア・ミキモトイ: 数百~数千cells/ml(魚類等のへい死)
・ヘテロシグマ・アカシオ: 10,000~50,000cells/ml(魚類のへい死)
・ココロディニウム・ポリクリコイデス: 数百~1,000cells/ml(魚類のへい死)
・シュードシャットネラ・ベルクローサ: 500~1,000cells/ml(魚類のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>